平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社不動テトラ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	1813	URL	http://www.fudotetra.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)竹原　有二	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員管理本部企画財務部長	(氏名)山下　晃	TEL (03)5644-8500
四半期報告書提出予定日	平成23年11月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	22,769	△6.9	△1,037	―	△1,355	―	△1,075	―
23年３月期第２四半期	24,469	△12.8	△966	―	△1,284	―	△1,013	―

（注）　包括利益　24年３月期第２四半期　△1,117百万円(－%)　23年３月期第２四半期　△1,066百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第２四半期	△6.53	―
23年３月期第２四半期	△6.16	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	34,554	11,576	33.1
23年３月期	43,878	12,693	28.7

（参考）　自己資本　24年３月期第２四半期 11,451百万円　23年３月期 12,575百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年３月期	―	0.00			
24年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	7.0	1,650	1,818.6	1,700	320.8	1,400	―	8.51

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（　　）、除外　　ー社（　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	182,025,228株	23年３月期	182,025,228株
②　期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	17,540,018株	23年３月期	17,539,191株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	164,485,665株	23年３月期２Ｑ	164,486,710株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（２）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……２
（２）連結業績予想に関する定性的情報 ……３
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……３
３．四半期連結財務諸表 ……４
（１）四半期連結貸借対照表 ……４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……６
四半期連結損益計算書 ……６
四半期連結包括利益計算書 ……７
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……８
（４）継続企業の前提に関する注記 ……９
（５）セグメント情報等 ……９
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……９
４．補足情報 ……１０
受注高・売上高・繰越高（連結ベース） ……１０

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低迷していた生産活動や輸出に回復の兆しが見られたものの、欧州での財政問題や米国の景気後退を背景とした円高が進行し、依然と厳しい状況が続きました。

建設業界においては、民間部門において震災対策での設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、公共部門については、震災の影響により本年度予算の執行が一部保留されたことに加えて、復興事業の立ち上げが遅れていることもあり、建設投資は総じて低調に推移したため、受注競争がこれまで以上に激化し、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社はグループ一丸となって、これまで培ってきた独自の技術を被災地の復旧支援をはじめとした国土の防災、減災に活かすべく注力しました。

しかしながら、公共事業の執行遅れの影響が大きく、当第２四半期連結累計期間の業績については、受注高が19,082百万円（前年同四半期比23.5％減）となったことで、売上高は22,769百万円（前年同四半期比6.9％減）と減収となりました。

この結果、損益については、販売費及び一般管理費など固定費の削減に努めましたが、営業損失は1,037百万円（前年同四半期966百万円の損失）、経常損失は1,355百万円（前年同四半期1,284百万円の損失）、四半期純損失は1,075百万円（前年同四半期1,013百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの四半期別売上高は、建設業界における一般的な傾向と同様に、第４四半期に完成する工事の割合が大きく、第４四半期の売上高の割合が他の四半期に比べ、著しく高くなるという特性を有しています。従いまして、業績面におきましても同様の季節的変動特性があります。

当社グループの事業別概況は次のとおりで、各事業の成績は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しています。（セグメント情報の詳細については、９ページをご覧ください。）

（単位：百万円）

	受注高			売上高			営業利益		
	前第２四半期連結累計期間	当第２四半期連結累計期間	増減	前第２四半期連結累計期間	当第２四半期連結累計期間	増減	前第２四半期連結累計期間	当第２四半期連結累計期間	増減
土木事業	11,883	6,667	△5,216	13,142	12,915	△227	△435	△107	328
地盤改良事業	10,370	10,483	113	9,566	8,318	△1,248	△398	△682	△284
ブロック事業	2,418	1,885	△533	1,864	1,551	△313	△185	△293	△108

（土木事業）

土木事業は、公共事業の発注遅れから受注高は大幅に減少しましたが、売上高は前期並となりました。営業損益は、選別受注やコストダウン効果により採算性が改善し、損失107百万円と前年同四半期比で328百万円の改善となりました。

（地盤改良事業）

地盤改良事業は、受注高は前期並となりましたが、手持工事の着工遅れから、売上高は大幅な減収となり、営業損益は損失682百万円と前年同四半期比で284百万円の悪化となりました。

（ブロック事業）

ブロック事業は、公共事業の発注遅れから受注高が大幅に減少したため、売上高も減収となり、営業損益は損失293百万円と前年同四半期比で108百万円の悪化となりました。

（２）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績見通しについては、平成23年５月13日に公表しました、通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．【四半期連結財務諸表】

（１）【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,969	3,305
受取手形・完成工事未収入金等	21,392	12,299
有価証券	20	20
未成工事支出金等	553	697
販売用不動産	667	659
材料貯蔵品	647	570
その他	2,368	2,470
貸倒引当金	△196	△135
流動資産合計	29,420	19,885
固定資産		
有形固定資産	5,784	6,398
無形固定資産	353	309
投資その他の資産		
投資有価証券	5,235	4,844
その他	5,302	5,324
貸倒引当金	△2,217	△2,206
投資その他の資産合計	8,320	7,962
固定資産合計	14,458	14,669
資産合計	43,878	34,554
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	14,852	10,990
短期借入金	9,481	3,878
未払法人税等	73	69
未成工事受入金等	1,637	1,251
引当金	343	372
その他	2,509	1,628
流動負債合計	28,894	18,187
固定負債		
長期借入金	－	1,800
退職給付引当金	1,261	1,461
その他の引当金	14	6
その他	1,016	1,525
固定負債合計	2,291	4,791
負債合計	31,185	22,978

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	14,756	14,756
利益剰余金	△6,931	△8,005
自己株式	△251	△251
株主資本合計	12,574	11,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△39	△86
為替換算調整勘定	40	38
その他の包括利益累計額合計	1	△48
少数株主持分	118	125
純資産合計	12,693	11,576
負債純資産合計	43,878	34,554

（２）【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高		
完成工事高	22,205	20,868
兼業事業売上高	2,264	1,901
売上高合計	24,469	22,769
売上原価		
完成工事原価	20,540	19,568
兼業事業売上原価	1,282	1,119
売上原価合計	21,822	20,688
売上総利益		
完成工事総利益	1,665	1,300
兼業事業総利益	982	782
売上総利益合計	2,647	2,082
販売費及び一般管理費	3,613	3,119
営業損失（△）	△966	△1,037
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	6	6
特許実施収入	18	14
その他	57	26
営業外収益合計	82	47
営業外費用		
支払利息	110	101
持分法による投資損失	247	225
その他	43	40
営業外費用合計	400	365
経常損失（△）	△1,284	△1,355
特別利益		
固定資産売却益	14	3
投資有価証券売却益	－	7
その他	106	0
特別利益合計	120	11
特別損失		
持分変動損失	－	43
その他	275	32
特別損失合計	275	75
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,439	△1,419
法人税、住民税及び事業税	66	47
法人税等調整額	△503	△399
法人税等合計	△437	△351
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,002	△1,068
少数株主利益	10	7
四半期純損失（△）	△1,013	△1,075

【四半期連結包括利益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,002	△1,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△40
為替換算調整勘定	20	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△7
その他の包括利益合計	△64	△49
四半期包括利益	△1,066	△1,117
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,076	△1,124
少数株主に係る四半期包括利益	10	7

（３）【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,439	△1,419
減価償却費	375	389
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△213	△72
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△14	200
その他の引当金の増減額（△は減少）	△45	29
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	110	101
持分法による投資損益（△は益）	247	225
売上債権の増減額（△は増加）	7,678	9,094
未成工事支出金等の増減額（△は増加）	△589	△143
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,276	△3,862
未成工事受入金等の増減額（△は減少）	△203	△387
未払消費税等の増減額（△は減少）	△348	△539
その他の流動資産の増減額（△は増加）	262	217
その他の流動負債の増減額（△は減少）	95	△471
その他	514	138
小計	2,144	3,491
利息及び配当金の受取額	20	74
利息の支払額	△114	△89
法人税等の支払額	△89	△55
特別退職金等の支払額	△219	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,741	3,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△91	△101
有形固定資産の売却による収入	39	5
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	9
貸付けによる支出	△6	△7
貸付金の回収による収入	32	14
その他	46	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,982	△5,819
リース債務の返済による支出	△129	△206
長期借入による収入	550	2,200
長期借入金の返済による支出	－	△184
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,560	△4,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△804	△665
現金及び現金同等物の期首残高	5,191	3,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,388	3,298

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	土木事業	地盤改良事業	ブロック事業	合計	(注)1		(注)2	(注)3
売上高								
外部顧客に対する売上高	13,741	8,670	1,856	24,267	202	24,469	－	24,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	△599	896	8	304	201	505	△505	－
計	13,142	9,566	1,864	24,571	403	24,974	△505	24,469
セグメント利益又は損失(△)	△435	△398	△185	△1,018	1	△1,018	52	△966

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険、サービス事業等からなります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額52百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、その他の調整額89百万円が含まれています。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	土木事業	地盤改良事業	ブロック事業	合計	(注)1		(注)2	(注)3
売上高								
外部顧客に対する売上高	12,810	8,281	1,370	22,462	308	22,769	－	22,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	104	36	181	321	121	443	△443	－
計	12,915	8,318	1,551	22,783	429	23,212	△443	22,769
セグメント利益又は損失(△)	△107	△682	△293	△1,082	△9	△1,091	54	△1,037

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険、サービス事業等からなります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額54百万円には、セグメント間取引消去13百万円、その他の調整額41百万円が含まれています。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

受注高・売上高・繰越高（連結ベース）

当社グループにおける事業の状況は、以下のとおりです。

（単位:百万円）

区分	期別	前第２四半期連結累計期間（自　平成22年 4月 1日　至　平成22年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自　平成23年 4月 1日　至　平成23年９月30日）		比較	
	部門	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	金額	増減率（%）
受注高	工事	22,061	88.4	16,815	88.1	△5,246	△23.8
	型枠賃貸他	2,889	11.6	2,267	11.9	△622	△21.5
	計	24,950	100.0	19,082	100.0	△5,868	△23.5
売上高	工事	22,205	90.8	20,868	91.6	△1,337	△6.0
	型枠賃貸他	2,264	9.2	1,902	8.4	△363	△16.0
	計	24,469	100.0	22,769	100.0	△1,700	△6.9
繰越高	工事	41,083	97.3	35,371	97.8	△5,712	△13.9
	型枠賃貸他	1,149	2.7	810	2.2	△339	△29.5
	計	42,232	100.0	36,181	100.0	△6,051	△14.3